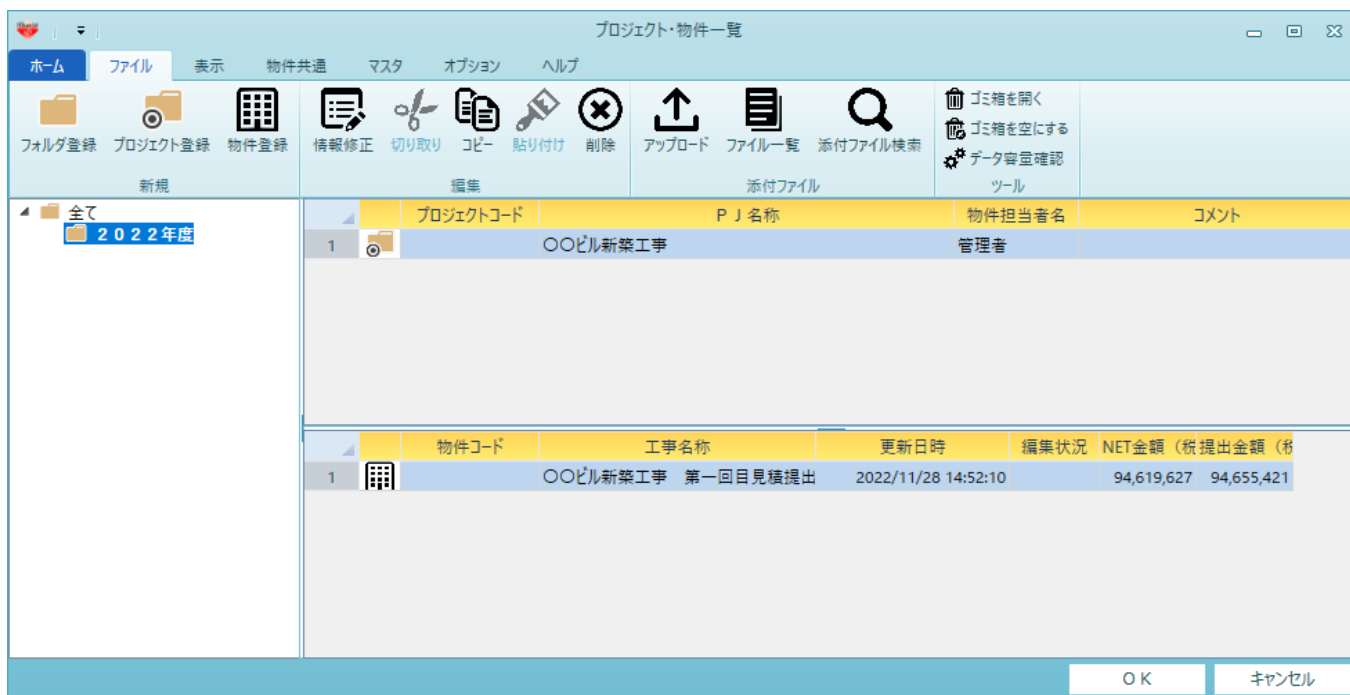


BCS出力時に科目コードを出力したい場合の対処方法

BCS出力時に科目コードを出力したい場合の対処となります。

1. プロジェクト・物件一覧画面を開きます。



2. オプション - 動作環境設定 を開きます。



3. 「BCS出力において、科目コードを出力する。」にチェックを入れて、画面を閉じます。

動作環境設定

- 単位が未入力の場合、単価の入力を可能にする。
- 単位が未入力の場合、単価の入力を不可にする。
- 割掛処理において、単位・単価を必ずコピーする。
- 割掛処理において、単位・単価を任意でコピーする。
- 割掛処理において、対象元と対象先を同じにする。
- 割掛処理において、対象元と対象先を同じにしない。
- 内訳階層のマイナス変換で、配下の明細データを処理対象にする。
- 内訳階層のマイナス変換で、配下のデータでなく、選択行自身を処理対象にする。
- BCS入力において、階層コードを入力する。
- BCS入力において、科目コードを入力する。
- BCS出力において、階層コードを出力する。
- BCS出力において、科目コードを出力する。
- 見積書入力にて、数量整数部分を揃える。
- 見積書入力にて、数量整数部分を揃えない。
- 範囲選択時、金額計上行のみ数値を合計する。
- 範囲選択時、全ての数値を合計する。
- プロジェクト物件一覧画面の起動時に、前回終了時の選択行を復帰させる。
- プロジェクト物件一覧画面の起動時に、前回終了時の選択行を復帰させない。
- セル選択中に[BackSpace]キーで、セル内の文字をクリアする。
- セル選択中に[BackSpace]キーで、カーソルが前セルにバック移動する。
- 見積依頼の希望金額の未入力を許可する。
- 見積依頼の希望金額の未入力を許可しない。
- 計属性行は数量・単位の入力を可能とし、入力エラーメッセージを出さない。
- 計属性行は数量・単位の入力を不可とし、入力エラーメッセージを出す。
- 明細属性行を計属性行に変更する場合、警告メッセージを出さない。
- 明細属性行を計属性行に変更する場合、警告メッセージを出す。
- コメント属性から明細属性に変更した場合、単価を保持する。
- コメント属性から明細属性に変更した場合、単価をクリアする。
- 単位を消した場合、単価をクリアしない。
- 単位を消した場合、単価をクリアする。
- 見積書入力画面のセルの色を列ヘッダと合わせない。
- 見積書入力画面のセルの色を列ヘッダと合わせる。
- プロジェクト物件一覧画面の起動時に、すべての階層を開く。
- プロジェクト物件一覧画面の起動時に、第 1 階層を閉じて表示する。

OK キャンセル

4. BCS出力を行ってください。

以上で終了です。

上記手順にて解決できない場合には、弊社窓口までお問合せ下さい。